

令和5年度委員会目標



社会福祉法人友愛会
特別養護老人ホーム山県グリーンビレッジ



給食委員会

【令和5年度目標】

・目標：

- 1.災害時・感染症発症時でも継続して食事提供を行うことができる体制を整える。（BCP対策）災害時の食事提供マニュアルの見直しを行う。
- 2.誤嚥性肺炎防止プロジェクトにおける給食委員としての活動を継続して行う。

【方法】

・具体的取組：

- 1.委員会にて災害時の食事提供マニュアルの見直しを行う。また新しく非常食の備蓄場所が変更しているため、職員に周知できるように委員にて行う。
- 2.とろみの水分でダマができるなどのミスが出始めたら、フロアーの給食委員が委員会にて報告し対策を再検討する。ミスが多い時はラウンドを行い、定期的にチェックを再度行う。介護のケア記録の残し方について摂食嚥下リハビリテーション学会基準と同じ記録を残すことができるように委員を中心に行っていく。

委員にて記録を確認し、ミスがあればフロアー会議にて委員より統一した記録を残すことができるように指導していく。



キャリア段位・ノーリフト委員会

【令和5年度目標】

- ・キャリア段位

目標：令和4年度に達成できなかった認定の継続を含む3名の取得（各フロア1名）

【方法】

- ・具体的取組：人事異動に伴いアセッサー、対象者を再度選ぶ。
できれば希望者を募る。



キャリア段位・ノーリフト委員会

【令和5年度目標】

・ノーリフト

目標：①令和4年度購入した入浴介助ベルトが適切に使用できているかの確認を行う。

②スライディングシート活用の検討

【方法】

・具体的取組：各移乗補助具がどれくらい使用されていて、使用されていないものはないか。使用されていないのであればなぜ異様されていないのか原因究明を行う。

・ベッド上でのスライディングシートを使った水平移動の習得、普段から使えるような仕組みづくり



感染予防委員会

【令和5年度目標】

- ・ 目標：施設内感染症ゼロを目指す。

【方法】

- ・ 具体的取組
マニュアルを再度確認をする。
 - ①施設内に持ち込まない為の対策確認する。
 - ②感染後に実地したアンケート集計を基に改善点を確認する。
 - ③個人防護具の使用場面、着脱方法を明記する。
 - ④物品管理、廃棄物管理方法を明記する。



接遇委員会

【令和5年度目標】

利用者の尊厳を大切にし、誠意を持って対応する。

《具体的取組方法》

- ・アンケート調査を年2回（9月・2月）実施。
その都度、分析を行いフィードバックをする。
- ・具体的取組：コミュニケーションを上手く取れる環境づくりを行う。
- ・あいさつの徹底をする。
- ・主任、リーダーと連携をしていく。



記録委員会

【令和5年度目標】

- ・ 目標：記録、議事録の書式を統一しフォルダ管理を行う

【方法】

- ・ 具体的取組：
 1. 介護日誌の用語を統一
 - ・ 前年度同様介護記録の統一化を目指していく。記録委員が介護日誌の確認を行い、不明確であればその都度訂正し疑問があれば委員会で確認を行う。
 2. 議事録の書き方を統一
 - ・ 職員によって書き方が異なる為、マニュアルを作成し統一を図る。
 3. 各委員会関連の書式保存方法を統一
 - ・ 現在委員会議事録等を個人用フォルダで保管しており、引き継ぎや閲覧時に探す手間が生じている。保管場所を統一し生産性向上を図っていききたい。



看取り委員会

【令和5年度目標】

- ・ 目標：最期までその人らしく生き抜いていただく。

【方法】

- ・ 具体的取組：職員、家族を巻き込み思い出作りをする
写真撮影、好きな食べ物を食べていただく
居室環境（好きな音楽、テレビ鑑賞等） ・ ・



事故防止委員会

【令和5年度目標】

- ・目標1－重傷事故0件(今年度同様)
- ・目標2－皮膚剥離前年度より30パーセント減少
(原因が不明な剥離も多く、半減することは達成困難と思われるため30パーセント減とした。)

【方法】

【目標1 重傷事故 0件】

取り組み⇒ハインリッヒの法則に基づき、小さいトラブルを徹底的に洗い出し対策を打つことで重傷事故の発生を防止する。気づきシートの活用。

【目標2 皮膚剥離前年度より30パーセント減少】

令和3年度は皮膚剥離が80件発生した。

前年度同様、原因不明の剥離が多く発生していた。原因不明を良しとしていては大幅な減少は困難と思われる。日頃から、皮膚の状態の観察を継続し、衣服の着脱介助時や移乗介助時に利用者に負荷のかからない方法を日頃から情報交換するなど、個別ケアを検討する。

同一利用者の複数回剥離については特に意識し、観察を強化する。



身体拘束廃止委員会

【令和5年度目標】

【定義づけられた禁止行為以外の表面化しにくい拘束を排除する】

【方法】

- ・ 具体的取組：研修等を通じ、スピーチロック、ドラッグロック等への意識を高めることで表面化しにくい拘束を排除する。



虐待防止委員会

【令和5年度目標】

- ・【虐待ゼロを目指す】

【方法】

- ・ 接遇委員会ともタイアップし、虐待の芽を小さいうちに摘んでいく。
- ・ 職員倫理に関する研修を実施する。
- ・ お互いに注意し合えるような職場環境作り。



広報・互助会委員会

【令和5年度目標】

目標：施設新聞（広報誌）を前期後期の年2回、家族への手紙を季節ごとに作成する。

【方法】

具体的取組

施設新聞 → 従来型、ユニット等の活動の様子や写真、各種行事で
の様子を施設新聞として作成し施設内に掲示する。

家族への手紙 → 季節ごとの挨拶文、利用者の顔写真を載せた用紙を広
報委員で作成後、各担当職員から日頃の様子を記入してもらい家族に
届ける。



排せつ改善委員会

【令和5年度目標】

- ・ 目標：排泄交換の回数を削減し利用者への負担の軽減を行い、削減により生まれた時間をより細かなサービスの提供へ繋げる。

【方法】

- ・ 具体的取組：新たな排泄用品を取り入れ現状4回の排泄交換から3回へと回数を削減する。また、新製品の機能を活かし、皮膚トラブル等の排泄時におけるリスクの軽減に努める。
- ・ 個別の排泄アセスメントを行う。



入浴改善委員会

【令和5年度目標】

- ・ 目標：入浴時におけるインシデント件数を前年度より減らす。

【方法】

- ・ 具体的取組：入浴時のインシデントについて、色々な人の意見も聞き、委員会で話し合い課題を見つけていく。



レクリエーション委員会

【令和5年度目標】

- ・ 目標：利用者のADLに合わせた活動を行い、楽しい思い出を作る。

【方法】

- ・ 具体的取組：
- ・ 行事を通じて各委員が率先し、利用者に合わせて活動を行う。



褥瘡予防委員会

【令和5年度目標】

- ・目標：褥瘡発生者数を10名以下にする。

(LIFEフィードバックより、昨年度の発生率が全国平均以上だったため、全国平均並みにする。)

誤嚥性肺炎防止として、食事時のポジショニングが委員から発信できる。

【方法】

- ・具体的取組：令和4年度褥瘡発生者した方でなぜ褥瘡が発生したかを振り返り、原因を追究することで予測ができ、対応につなげる。
 - 1, 令和4年度褥瘡発生者振り返り原因を追究、対応を確認する。
 - 2, 褥瘡発生リスクが高い方の情報が共有できる。
 - 3, 新しく入所された方、体調により嚥下機能が低下した方の状態を把握し、早期に対応ができるよう、委員より発信する。



医療的ケア対策推進委員会

【令和5年度目標】

- ・ 目標：インシデントがなく、安心、安全な医療的ケアを提供する。

【方法】

具体的取組：医療的ケアを必要とする利用者の情報が常に共有できるよう、個人記録、特記事項、必要時は申し送りに記入し、周知できるようにする。
年一回の勉強会実施。